

# 企業、地域の健康経営に関する海外展開と 国際標準化（Wellbeing Management規格）の狙い

◇（社）社会的健康戦略研究所

◇（独）産業技術総合研究所

ヘルスケアサービス効果計測コンソーシアム（EbHW）

□ 事務局：日本規格協会

2019年12月19日

一般社団法人社会的健康戦略研究所  
代表理事 浅野 健一郎

# 世界の課題はSGDsの実現手法

## Sustainable Development Goals 世界を変えるための17の目標



# 社会課題解決で産業界が果たす役割は大きい

## Society 5.0 実現に向けて

内閣府総合科学技術・イノベーション会議

引用元: [www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/infra\\_fukkou/12kai/sanko2.pdf](http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/infra_fukkou/12kai/sanko2.pdf)

参考資料2

Society 5.0 実現に向けて

内閣府  
総合科学技術・イノベーション会議

久間 和生



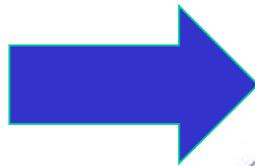
「Society 5.0」の概念

Society5.0とは、  
狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会  
に続く、以下のような新たな経済社会をいう。

- ① サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより、
- ② 地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かく対応したモノやサービスを提供することで 経済的発展と社会的課題の解決を両立し、
- ③ 人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会



健康の領域は、  
次世代のヘルス  
ケア産業が解決  
する領域に適合



# 生涯現役社会の構築に向けた「アクションプラン2019」

## ※1：4つの壁（課題）

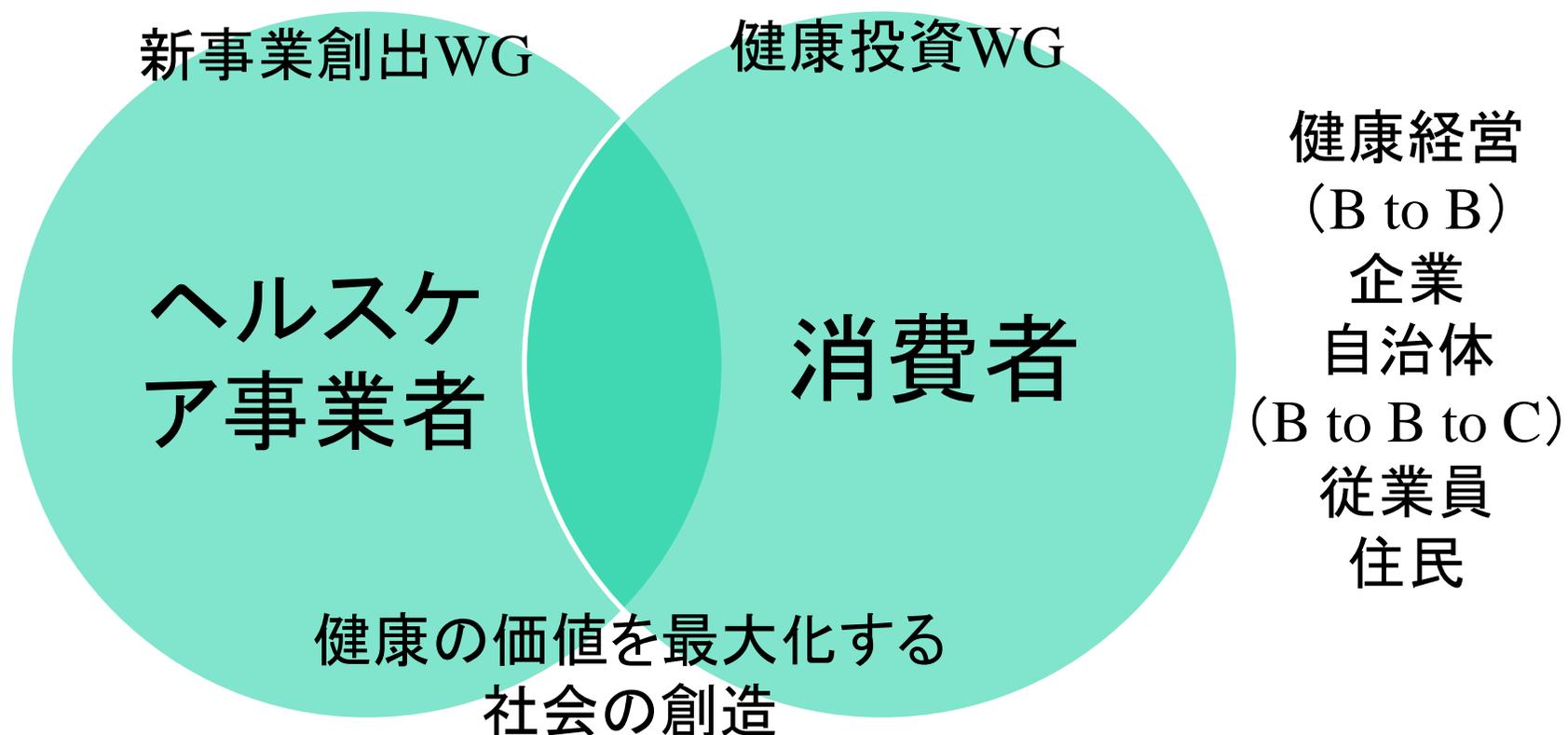
- ① 身体の壁（いわゆる現役時代から適切な健康管理が行われていない）  
→対応策：職場や地域での生活習慣病予防対策の実施
- ② 価値観の壁（リタイア後の生活設計や生き方についての意識が低い）  
→対応策：健康への気づきや活動の継続を促す行動変容につながるサービスの創出
- ③ 選択肢の壁（高齢者に適した柔軟な働き方や利用可能なサービスが少ない）  
→対応策：新たなヘルスケアサービス創出による選択肢の充実
- ④ 情報の壁（自らに適した働き方や良質なサービスにたどりつけない）  
→対応策：公的保険外サービスの見える化と品質評価の推進

これらの社会課題解決で、  
職域、地域における健康経営とそれを支えるサービスの重要性は大

# 実際は産業界だけが頑張っても限界がある

## 次世代ヘルスケア産業協議会の原点

事業のと消費の活性化を両輪ですすめ、新市場を創造する



この両輪の活動に資する国際規格を日本提案で策定する

世界に先駆け超高齢社会に突入した日本

# 健康経営先進国日本の 世界に果たすべき役割

日本発で

健康経営から世界を変える

世界の社会課題解決と日本の経済発展の両立が  
持続的にできる日本へ

## 日本式健康経営は三方良し

日本で始まった健康経営の活動は、国民・経済・国家の課題を解決する

### 健康経営の本質は、

企業経営によし、社員によし、社会によし

地域経営によし、住民によし、社会によし

経営目的を実現させるため、社員（住民）の社会的健康の向上を手段とすることで、結果として国の経済にも国民の社会保障の健全化にも寄与する。

## 日本主導で、世界の課題を解決

日本の健康経営のエッセンスを世界標準の形にして、世界に普及させる

- ポリシー
- プロセス
- 手法、デバイス、指標等々

＊ □日本の健康経営を世界へ普及

→世界の社会課題解決

→日本のヘルスケア産業の発展

→日本の経済、社会課題解決

## 日本が健康経営の標準化で世界に優位な点

1. 日本には、健康経営の実践が浸透してきているので、実践社は山ほどある
2. 日本には、法定健診、ストレスチェック等の健康データが山ほど蓄積されている
3. 日本には、健康経営関連施策のエビデンスを検証する団体や研究者が世界と比較して多く存在している
4. 日本には、健康経営関連コンサルティング・ソリューション・サービス提供事業者も、デバイス・アプリ提供事業者も、山ほどいる

その結果として

- ✓ 世界と比して理念・技術で圧倒的に優位性
- ✓ 世界と比して標準化での経済効果も大きい

## それに伴い健康経営の市場も拡大している

- 健康経営コンサルティング
- 分析サービス
- 健康指導サービス(個人やクラウド)
- スマホアプリ(健康データの取得と個人指導)
- 各種センシング/モニタリングシステム
- 人事管理システム
- 従業員の健康状態データの保管サービス

JMDCがお届けする最新医療データマガジン

# JMDC Healthcare Information

2017/1/12 Vol.091

## 【第二期データヘルス計画について】

多くの健康経営が手探りでスタートをはじめた第一期データヘルスの二年目が終わりにかかろうとしています。また来年度は第二期データヘルス計画の策定年度でもあります。ここでは第一期の計画をもとに、より明確な目標設定や効果のある健康経営策が定められています。これから(データヘルス計画策定から実行)と題し、決壊シリアルでメールマガジンをお届け致します。初回は第二期データヘルス計画の全体像として、計画策定から実行にかけての重要なポイントをまとめてみました。

### ■第二期データヘルス計画(全体策定から実行のポイント)

#### Check 効果検証

■ 実行した保健事業の効果検証  
第一期データヘルス計画の事業効果を明確にし、次期計画の基礎となる検証を行う必要があります。参加率や終了率だけでなく、健診結果やレセプトデータと結びつけ、健康増進効果や医療費抑制効果などをエビデンスに基づき検証する必要があります。

#### Act ポイント①

■ 個人のデータをエビデンスとした検証  
保健事業の参加者や非参加者のデータを比較することははじめて、効果検証になります。当社の分析では、対象者ごとと健診・レセプトデータを自由に交差可能です。

#### Plan 実態把握

■ 課題の見える化と目標設定  
効果検証結果をもとにあらためて現状分析を行い、課題の見える化と保健事業の見直しをします。現状分析では、経年比較や他社ベンチマークが必要になります。保健事業見直しでは、効果検証結果を踏まえて、現実に対応したアウトカム指標の設定と事業計画立案が必要になります。

#### Act ポイント②

■ 健康年齢で課題の可視化  
当社の開発した総合指標(健康年齢)を活用し、誰にでもわかりやすく課題を可視化することができます。事業別をはじめ職種別などで行うことで、施策につなげる実態把握をご提供します。

#### Do 施策実行

■ データにもとづいた保健事業健康増進効果をいかに高めるか?  
健診・レセプトデータにもとづいた有効な取り組みを実践する必要があります。また、健康経営の効果を高めるためには、健康経営をさらに促進させることも一つと考えます。

#### Act ポイント③

■ 一気通貫に対応  
実態把握で可視化した課題を解決する施策を同時に提供しています。通知機能をはじめ、Webサービスをご活用した実態に合わせたサービス連携し、保健事業を強力にバックアップします。

次回は「Check 効果検証編」をお届けします!

■メールマガジンに関するお問い合わせ  
〒日本医療データセンター 保険者支援事業部 TEL:03-5733-5013/AM  
Copyright Japan Medical Data Center Co., Ltd. 2017 All rights reserved.

Design Life 株式会社NTTデータ ネットヘルスケアサービス

Health Data Bankの活用イメージ

特定健診・保健指導対応の新Health Data Bank

① 健康診断受付  
② 健診データ送信  
③ 健診データ登録  
④ データ照会・階層化  
⑤ 保健指導データ登録  
⑥ 健診結果データ送信  
⑦ 保健指導結果データ送信

HCCが提供するサービス

生活習慣病予防をトータルにサポート

QUPi Web版 冊子版

豊富な経験・実績に裏付け

保健指導

事業改善のための短気

分析サービス

生活習慣改善・特定健診

健康お役立ち

SOMPO リスクアマネジメント

サービスメニュー ニュース

SOMPO リスクアマネジメント > サービスメニュー > 健康経営

健康経営

概要

超高齢社会が進展するなか、労働人口の大幅な減少、生活習慣病の増加、官民において健康への取組みが進められています。

docomo HEALTHCARE

モバイル×ヘルスケアソリューション

健康経営を強力にサポート

従業員の労働生産性アップや健康増進に

お問い合わせ

ログデータを収集・分析

歩数や体重、睡眠といったライフログデータを収集して分析(FINCなどが「MY健康増進サービス」で提供するスマートフォンアプリの例)

健康増進を支援

健康増進を支援

ICチップをマシンに設置すると運動...

Panasonic

健康経営支援ソリューション

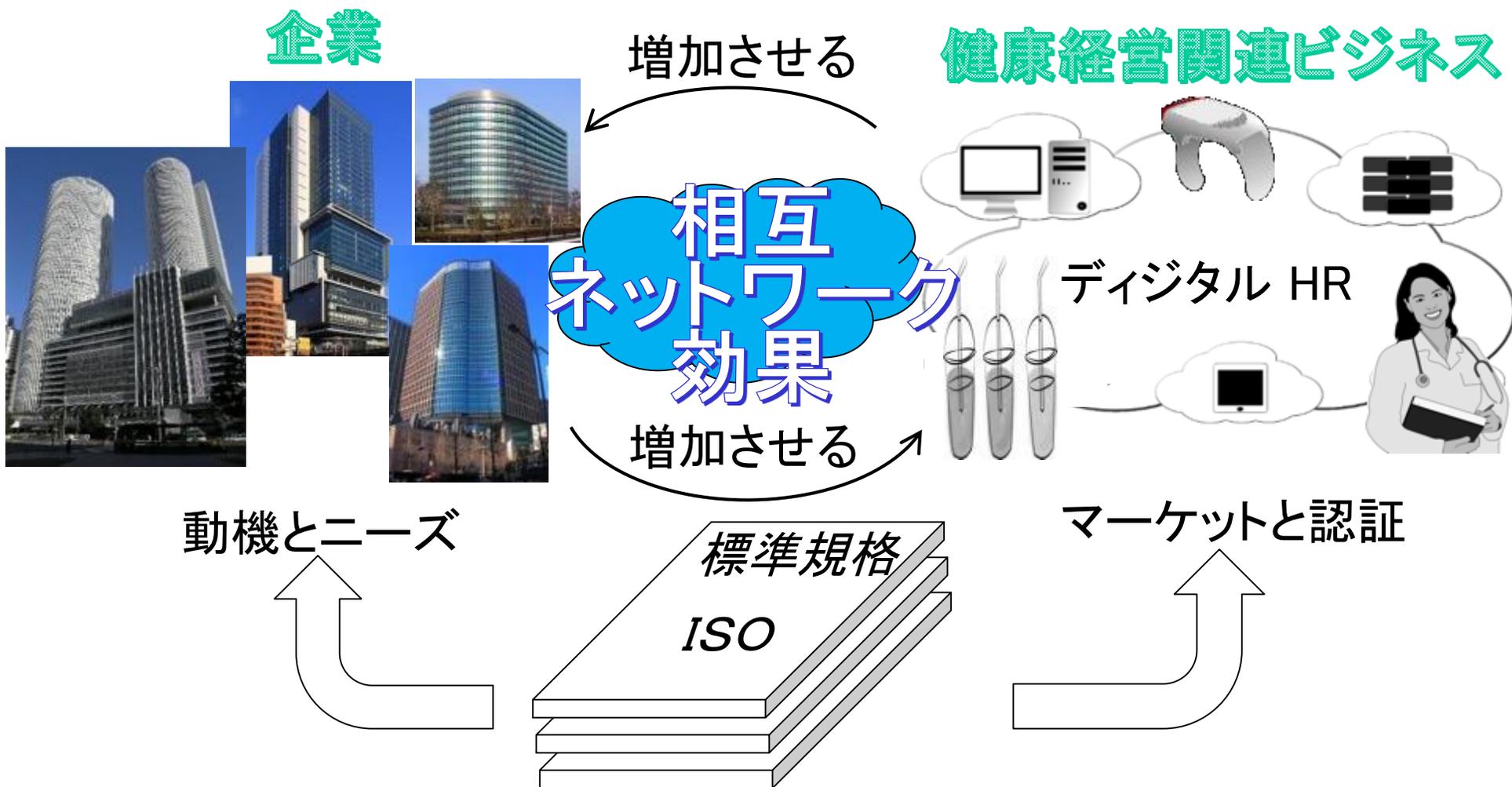
効果が見えるから続けられる!「健康ホワイ」

健康経営支援ソリューション

データ収集 見える化 保健指導

トップ 動画 選ばれる理由 機能 事例 動作環境 資料請求

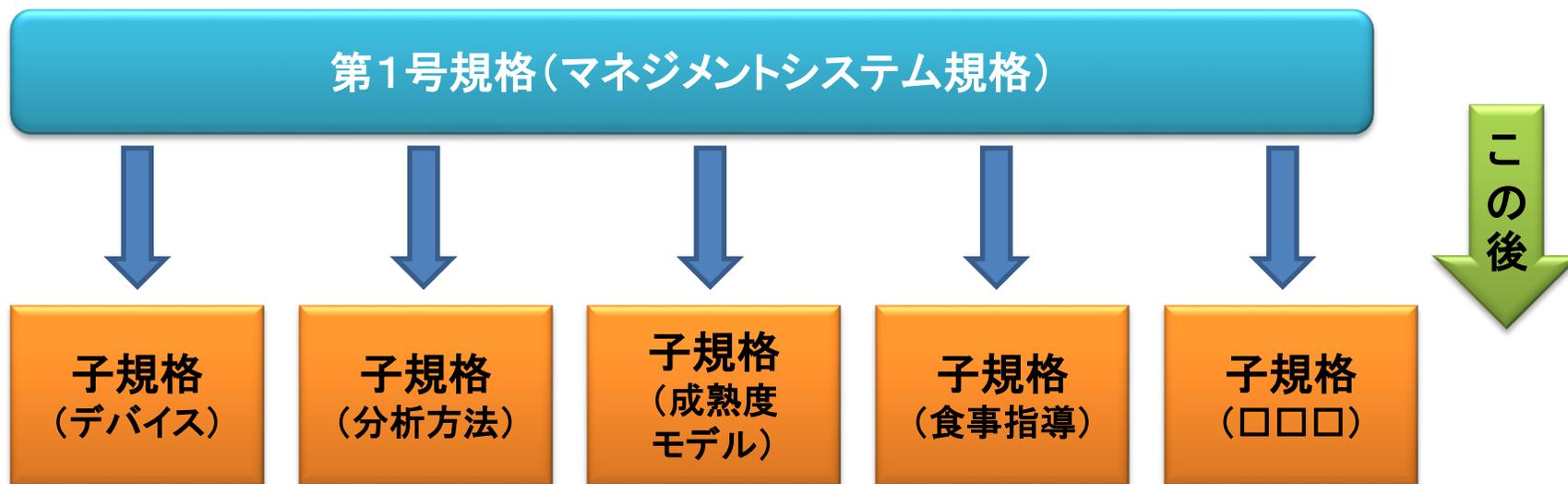
# 健康経営のビジネスエコシステムを海外に展開



ISO14001や9001のようなオーソリティーのある規格が触媒の役割を果たすとともに、日本の健康経営の概念を世界に普及させる

## 第1号規格に続くシリーズ規格の構想

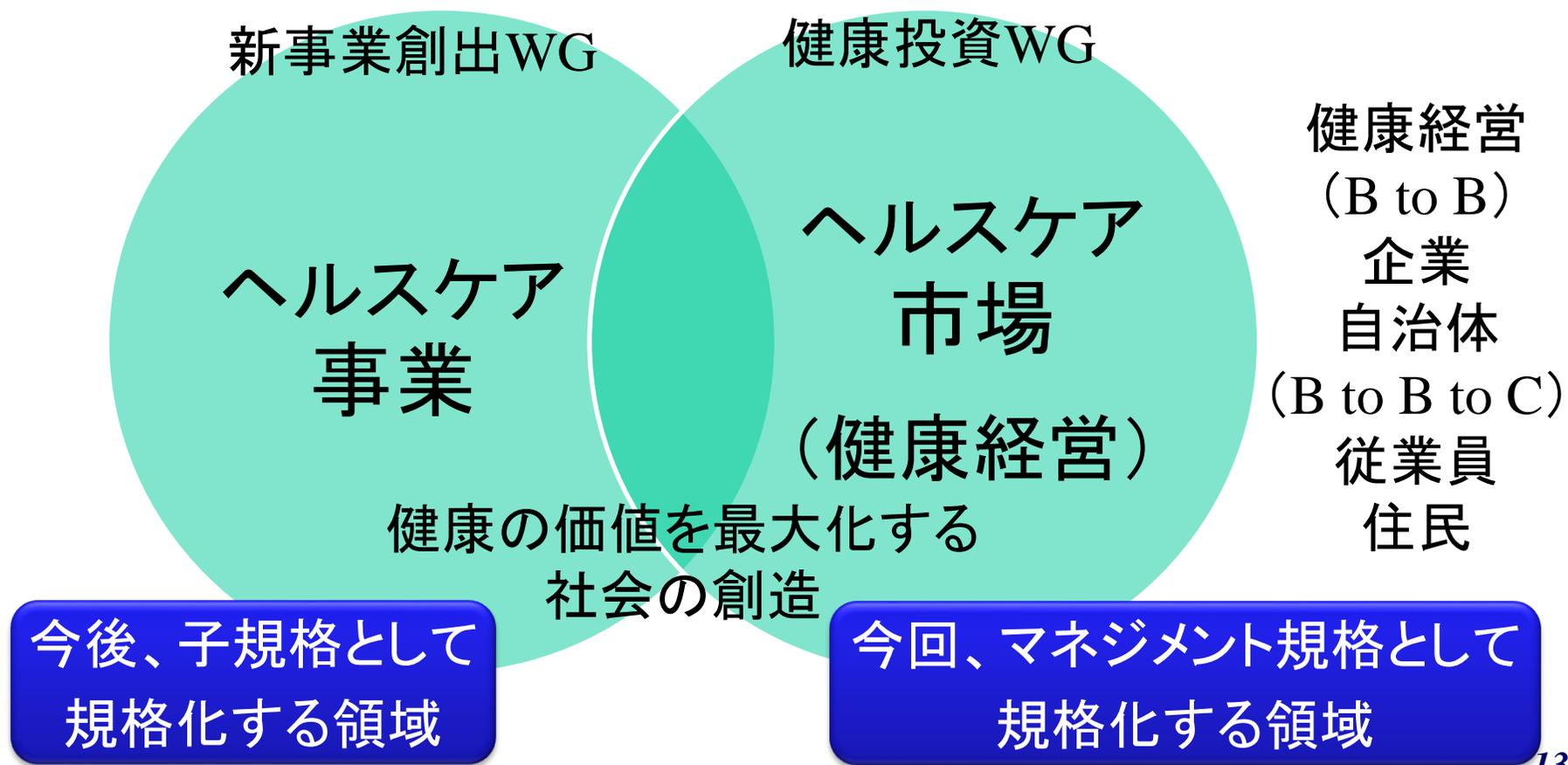
- ◆ この規格はマネジメントシステム規格である。規格内での機能とその水準を規定する規格ではなく、組織としてウェルビーイングを達成するためのマネジメントシステムをどのように作ったらよいというガイダンスを与える規格である。
- ◆ 将来、個別具体的な目的を持つ規格は、この規格の子規格・孫規格として作成される。



# 実際は産業界だけが頑張っても限界がある

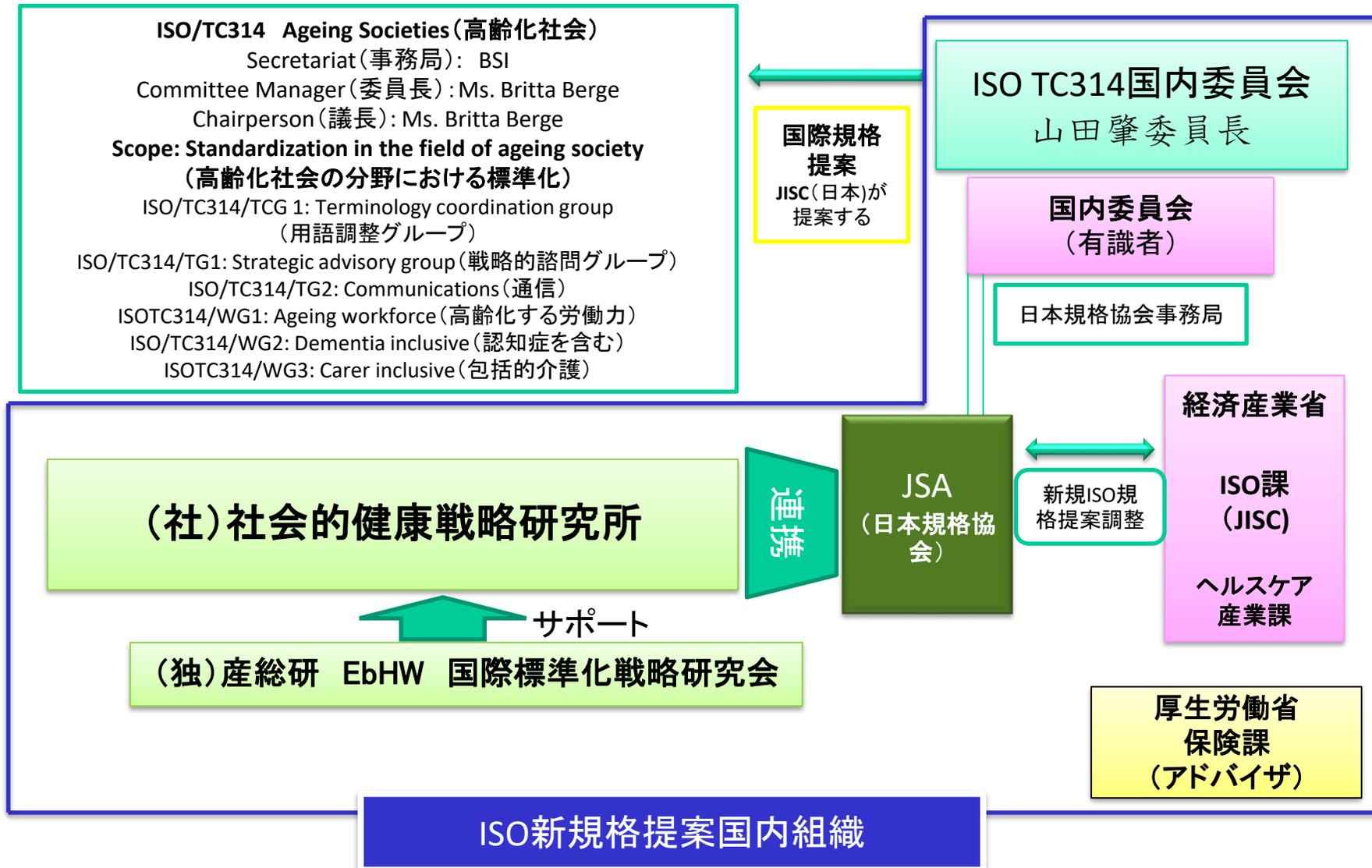
## 次世代ヘルスケア産業協議会の原点

国際標準により、両輪の活性化を加速し、世界の新市場を創造する





# ISO規格化を目指す日本国内体制

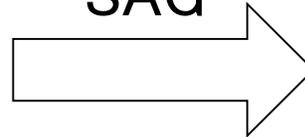


# なぜTC314なのか？



IWA18(2015年)

SAG



The TC will establish a Strategic Business Plan Task Group, which will consider the SAG A report to TMB as the basis of their work and where TC members are encouraged to nominate as expert former SAG A participants. The TG will fine tune the proposed items below for development and further prioritise the listed areas of work.

## Dementia

- Develop a guidance standard to provide good practice on achieving dementia friendly communities, based on PAS 1365 Code of practice for the recognition of dementia-friendly communities.
- To give consideration for other standards to be developed that can also benefit other long term mental health conditions of a chronic or progressive nature.

## Ageing Workforce

- Longer working lives bring significant benefits to individuals, employers and wider society. International standardization for ageing workforces will provide tools regarding workplace design, workplace technologies, and working practices to maximize employability opportunities.

## Health promotion and preventative care in older age

- The main focus will be on preventing chronic diseases (e.g. diabetes or depression) in ageing populations, maintaining activities of daily living and functioning and autonomy (for example fall prevention or medication error).
- This includes promoting functioning and participation in society.

## Social connectedness (Communities multi-generational)

- Integrated community support services

## Informal carers

- Volunteer guidelines standards
- Training, education, and communication for non-professional carers
- This can also include guidelines on how to support and stay connected with family/friends/other unaccredited carers

## Universal design standards

- Universal Design (also known as lifelong design/design for all/inclusive design) is the design and composition of an environment, products and services to be accessed, understood and used to the greatest extent possible by all people regardless of their age, size, ability or disability.
- Physical and graphical user interface – ergonomics for ageing societies

## Accessibility standards

- Collaboration with existing TCs to ensure consideration is given to the ageing society.

This can be through review of current/developing standards or joint work on new emerging areas. This subject can include aspects of service delivery, design, education and more.

## Technologies and systems for an ageing society

- Integrated devices
- Future technology
- Prescription services / GP services / apps
- Overall service standards to incorporate the framework of connectivity between wearable, medical devices and equipment

TC 314のTSP

ISO/TC 314 comes as a result of extensive work in this area by ISO, including the development of International Workshop Agreement IWA 18, *Framework for integrated community-based life-long health and care services in aged societies*, which led to the creation of the ISO Strategic Advisory Group (SAG) on Ageing Societies. Recognizing the enormous



# 開発する国際標準の概要(原則)

## 一般原則

この規格は達成目標として、世界的な高齢化社会に対応する組織内のウェルビーイングを特徴付ける次の七つの原則を提示する。

1. 高齢社会における社会の持続可能性を高めるために、社会を構成する組織として、企業、自治体、団体、地域社会等を対象として、その組織の持続可能性を高めるとともに、組織に属する個人のウェルビーイングを向上させることを目的とする。
2. WHO憲章で明示される「健康」の定義に従い、社会、身体、精神のウェルビーイングの向上させることを、その目的達成の手段とする。
3. 対象は、高齢者及び障害者を含め、組織に属する個人の全てとし、S G Dsのポリシーである、「誰一人として取り残さない」ことを目指す
4. 組織は、本目的達成のために組織に属する個人の健康データ等の情報を収集し、組織に属する個人のウェルビーイング向上に活用するとともに、データの管理を適切に実施する。
5. データの分析は、単なる統計処理ではなく、公衆衛生、社会疫学のアプローチを推奨したデータの利活用を促進する。
6. 強固で倫理的な関係、協調的かつコミュニケーション重視のマネジメントスタイル、学習及び開発が奨励される組織風土を育成する。
7. 多様性及びインクルージョン<sup>1)</sup>を、組織力として活用する。

注<sup>1)</sup> インクルージョンとは、高齢者、障害者、非正規雇用などを含む組織内の誰でもが参画・活用する機会が与えられる様をいう。

(上記目標達成のために、PDCAを通じて管理・向上させていくシステムになる。)

# 適用範囲

## 名称(仮): Wellbeing Management System規格

### 適用範囲:

この規格は、高齢社会に対応する組織に属する個人のウェルビーイングを確立し、促進し、維持し、見直すことで、組織の持続可能性を高めるためのマネジメントシステムの要求事項及び手引について規定する。

この規格は、どのようにしてウェルビーイングを環境を組織に組み込み、ウェルビーイング関連サービスを利用可能な状態にするために、どのようにリーダーシップが発揮されるかを考慮する。

この規格は、組織の規模、種類及び性質にかかわらず、いかなる組織にも適用することができる。

# マネジメント規格の構造

高齢化社会－ウェルビーイングマネジメントシステム－要求事項及び利用の手引	品質マネジメントシステム－要求事項 JISQ9001:2015, ISO 9001:2015
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 適用範囲</li> <li>2. 引用規格</li> <li>3. 用語及び定義</li> <li>4. 組織の状況 組織及びその状況の理解、利害関係者のニーズ及び期待の理解、ウェルビーイングマネジメントシステムの適用範囲の決定、ウェルビーイングマネジメントシステムの決定</li> <li>5. リーダーシップ リーダーシップ及びコミットメント、方針、組織の役割、責任及び権限</li> <li>6. 計画 リスク及び機会への取組、ウェルビーイング目的及びそれを達成するための計画の策定</li> <li>7. 支援 資源、力量、認識、文書化した情報</li> <li>8. 運用 運用の計画及び管理に関する一般事項、対象集団と対策の決定、対策の実施</li> <li>9. パフォーマンス評価 監視、測定、分析及び評価、内部監査、マネジメントレビュー</li> <li>10. 改善 不適合及び是正措置</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 適用範囲</li> <li>2. 引用規格</li> <li>3. 用語及び定義</li> <li>4. 組織の状況</li> <li>5. リーダーシップ</li> <li>6. 計画</li> <li>7. 支援</li> <li>8. 運用</li> <li>9. パフォーマンス評価</li> <li>10. 改善</li> </ol>

# 健康経営の1号規格の骨子(案)

## ✓ 取り組みの意義、意味

- ✓ 経営活動と社会課題解決の両立
- ✓ 高齢社会における企業・団体・組織の社会的役割・責務

## ✓ 持続可能な取り組み

- ✓ 経営目的達成のための取り組み
- ✓ 経営者のコミットメントと関与
- ✓ 経営目的の視点からの投資効果の見える化

## ✓ 継続させる仕組み

- ✓ OODA(PDCA含む)ループの構築
- ✓ 組織の設置と役割の明確化
- ✓ 遂行者の教育・訓練

## ✓ 効率的な運用の要点

- ✓ 現状把握
- ✓ ステイクホルダとの協働
- ✓ 外部リソースの活用

## ✓ 留意事項

- ✓ 産業保健、産業衛生活動とのシームレスな関係性の構築
- ✓ 投資効果の考え方
- ✓ 社会疫学的アプローチの実践

これらの骨子案を叩き台として、国内委員会にて具体的な規格を策定していく

# 国内委員(案)

名前(敬称略)	所属	備考	名前(敬称略)	所属	備考
佐藤洋	産業技術総合研究所	規格策定専門家	岡田 真平	身体教育医学研究所	健康経営推進者
浅野健一郎	社会的健康戦略研究所	業界団体代表者	高橋昭彦	産業技術総合研究所	業界団体代表者
大石佳能子	メディアヴァ	健康経営事業者	関山守	産業技術総合研究所	規格策定専門家
森晃爾	産業医科大学	健康経営学識者	安川拓次	花王	ヘルスケア事業者
山田肇	東洋大学	親委員会 委員長	XX	XX	XXX
岡田邦夫	健康経営研究会	健康経営学識者	以下、顧問(アドバイザー)		
秋山弘子	東京大学	高齢社会学識者	イチロー・カワチ	ハーバード公衆衛生大学院	公衆衛生学識者 社会行動科学
藤原武男	東京医科歯科大学	公衆衛生学識者	古井祐司	東京大学	データヘルス学識者
山本雄士	ミナケア	健康経営事業者	前野隆司	慶應大学	幸福学学識者
石田陽子	心陽	健康経営事業者	以下、関係者		
佐藤光弘	富士通ゼネラル	健康経営推進者	経産省ヘルスケア産業課、国際標準課、日本規格協会		

※9月以降の議論により、当初の委員構成案から変更。今後多少の追加・変更の可能性有り

# 規格策定の流れ(最短の場合)

2020年

4月 6月



Working Draft

10月



Committee Draft

12月



2021年

Draft International Standard



7月



Final Draft International Standard



2022年

International Standard



国内委員会

国際委員会

6月末



New Working Item Proposal

7月



10月



1月



8月



3月



10月

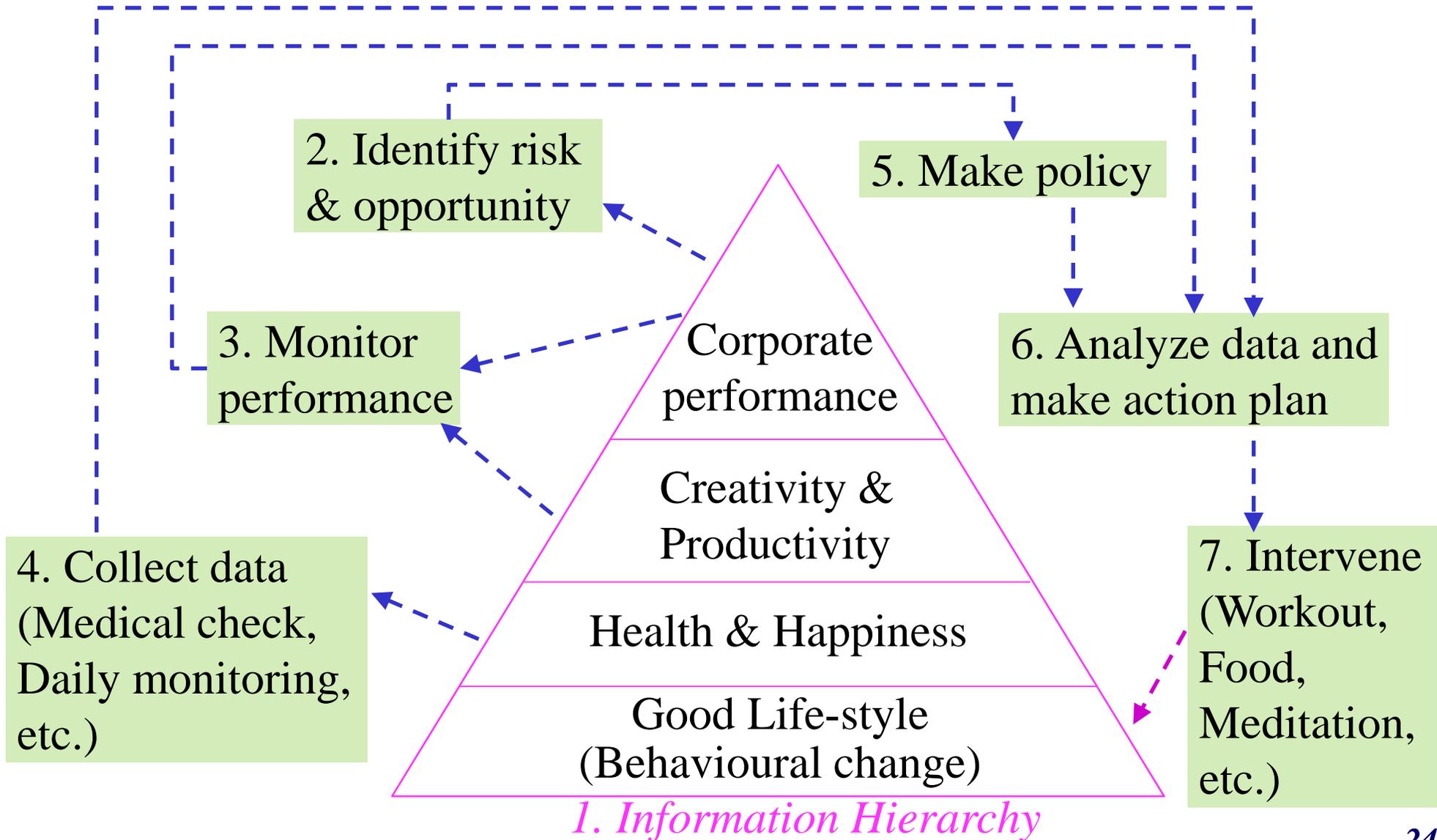


## まとめ

1. 日本が世界に先駆け、これからの社会課題解決として社会実装している健康経営を他国に先駆け国際標準とすることを狙う。
2. 日本主導で健康経営を標準化することにより、SDGsに代表される世界の社会課題解決に日本のヘルスケア産業界がリーダーシップを発揮し、事業を通じて貢献しやすい環境を整備する。
3. その結果として、日本の経済発展と日本の社会課題の解決の両立の一端を実現させる。

以下、参考資料

# ISO提案する第1号規格の構成(案)



# 健康経営関連市場の動向

## (株)シード・プランニング調査 2016.8～2017.3

### 健康経営関連市場の市場規模

2020年に1兆6700億円の市場と予測

- 健康経営を推進する経営理念・方針策定支援領域
  - ✓ 普及啓発・情報発信、コンサルティング、金融機関
- 法令順守・リスクマネジメント領域 6800億円 (2016年比、年率 8%)
  - ✓ 産業医、検診、メンタルヘルス、健康管理システム
  - ✓ BCP、感染症予防、認知症スクリーニング、職場IoT(ウェアラブル)
- 従業員の健康保持増進領域 7400億円(同3%)
  - ✓ 保険者とのコラボヘルスに係わる施策
  - ✓ 社員食堂、運動教室、睡眠支援
- 環境改善・組織活性化領域 500億円 (同11%)
  - ✓ コンサルティング・アセスメントツール、家具、総菜、菓子、リラクゼーション
- ワークライフバランス領域 2100億円 (同7%)
  - ✓ 福利厚生代行、テレワーク

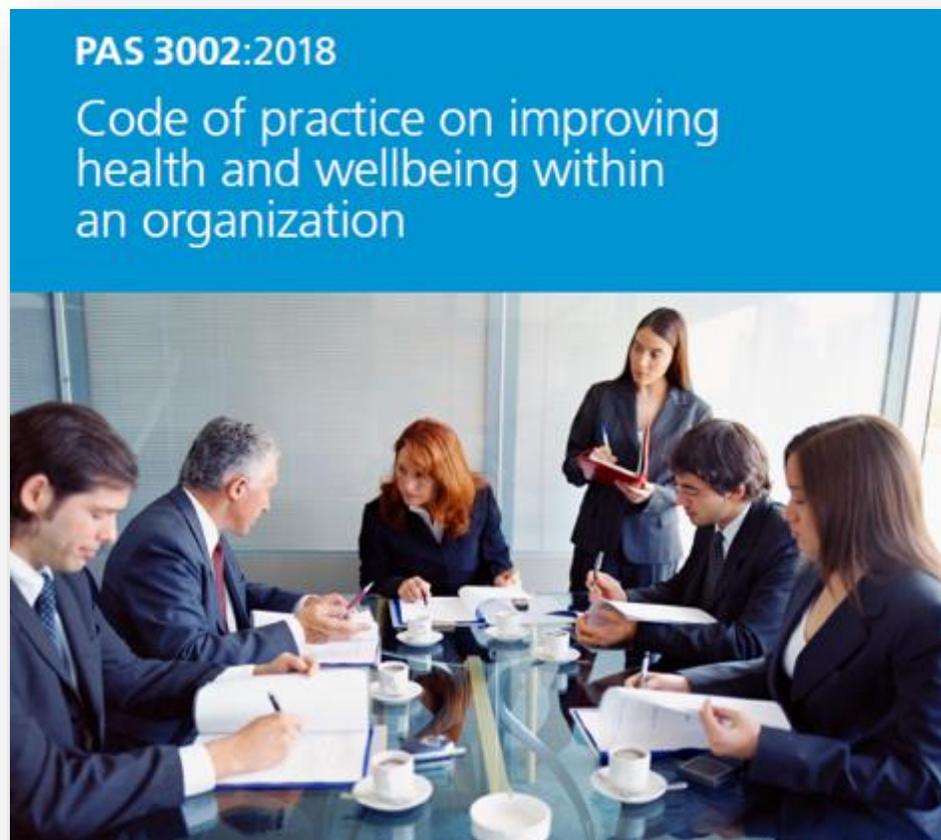
### 健康投資への取り組み方針

産業保健スタッフ等を強化して内製化を推進 ……31%

民間企業等への外部委託を推進 ……28%

健保組合など保険者等との役割分担推進 ……27%

# 世界での標準化の例: PAS 3002の概要



スリランカで  
用いた規格



BS PAS



日本の健康経営  
のメソドロジー

You can download (purchase) this document from  
<https://shop.bsigroup.com/>

# ほんとに世界が受け入れるか？ スリランカでの健康経営パイロット事業

PAS 3002をベースにアンケート(採点表)を作成して2018年度で実証。  
2019年度も継続 出典:<https://slchpa.com/home/>



# スリランカでも既にビジネス創出効果が出始めている



Saukya brings a holistic approach to enterprise wellness programs, enabling employers to engage with the total employee population while building a culture of wellness & wellbeing.



User friendly mobile applications catering to both Android & iOS platforms coupled with smart device integrations enable a pragmatic approach to wellness data aggregation with total employee population engagement. HR portal with gamified campaign management features and insightful dashboards help to steer your program to correct direction while tracking enterprise wellness goal achievement. Open APIs combined with single sign on and multi-level authentication features enable you to collaborate effectively with employee healthcare and benefits partners while respecting privacy of individual user data.

Mobile App	HR Dashboard	API
		
<b>Data Aggregation &amp; Scalability</b>	<b>Meaningful Insights &amp; Measurements</b>	<b>Multi-level Authentication &amp; Governance</b>
Saukya helps your enterprise wellness program to scale, fast reaching and engaging with the entire population of employees using its mobile application catering to both Android & iOS platforms.	Saukya encompasses of a well-crafted HR dashboard to deliver insightful & actionable analytics to conduct wellness campaigns & reward programs with a continuous employee engagement via notification channels.	Saukya data access APIs supporting multi-level authentication process, enable employees to seamlessly share wellness data with third party service providers while ensuring full control of their personal data.